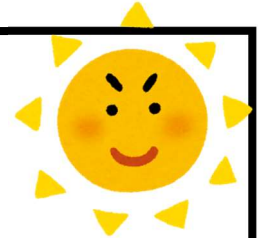


令和6年度



# 赤羽根の里だより



茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り

令和6年6月3日(月)

校長 高橋 励

Dear Student(\*^\_^\*)

## ベスト・パフォーマンスを!

この土曜日(6月1日)、小和田小学校の運動会を見にってきました。あなたの後輩たちはとてもステキな運動会を創りあげていましたよ。

今年から、小和田小学校の運動会は、全競技得点はつけず、赤組・白組の対抗戦でもなくなりました。開会式もトラックをぐるっと囲んだ隊形にして、プログラムNo.1の「応援エール」も赤・白の掛け合いではなくなりました。

勝ち負けを無くすと盛り上がりませんか、ということとそんなことはなくて、1年生から6年生までどの学年どの種目も、一人ひとりがベスト・パフォーマンスを見せようと真剣に一生懸命走ったり踊ったり、互いに応援の声をかけ合ったりしていました。

\*\*\*\*\*  
全校体操でラジオ体操している小学校2ヶ月の1年生を眺めながら「自分がはじめてラジオ体操ができるようになったのは何歳のときだろう?」とふと思いました。あれだけの動きを覚えて音楽に合わせて順番に身体を動かすって、小さい子には大変なこと。ちょっと感動しました。赤中体育祭も「全校体操」があります。当然、小学生とはひと味もふた味も違うはず。集団のパフォーマンスとしての質の美しさを期待しています。

感動といえ、徒競走で走り終わった人たちが待機しながら応援する姿がとても整然としていて、各種目の演技と同じくらいステキだなあと感じました。一人ひとりの意識の高さが伝わってきました。

そして、何より「すごいなあ」と感じたのが、運動会を進行する役割を担った上級生の姿。その場面場面の状況に合わせて、自分の役割をきっちり果たそうと取り組んでいる姿をみて、彼らが運動会を創っているんだなあ、と思いました。

さて、そんな小学生の姿をみてふと思ったことがあります。

今、赤中生になったあなたは、最上級としてのそんな小学生時代を経験してきているんですよ。1年生だからといって何もできないワケではないし、3年生ともなれば、小学生と比べものにならないくらいパフォーマンスの質も高くなっているはず。

赤羽根中学校の体育祭は対抗戦で得点を競い合います。でも、相手と競い合いながらもお互いのベスト・パフォーマンスをたたえることはできるはず。鎗を削ることがお互いの成長につながることも知っているはず。準備時間はあつたか。今週末には本番を迎えます。中学生として、小学校とはひと味違った、見どころ満載の体育祭を創り出せるといいですね。

ちなみに6月8日当日には、小学校の先生方も応援に来てくださるよう聞いています。「成長したねえ!」と感じてもらえるあなたの姿を見てほしい、とちょっと欲張る校長でした。



Dear Student(\*^\_^\*)

# 自分を調整する

体育祭に向けてベスト・パフォーマンスをめざすあなたへの、保健室の廣江先生からのメッセージが昇降口に掲示されています。

何かを本気でがんばろうと思うならば、自分の力を十分に引き出すための準備が必要です。よい準備をするためには、正しい知識が役に立ちます。知らないままにがんばることは、時に「無理」につながります。理屈に合わないことをすると、

上手くいかないことが出てきます。熱中症に関していえば、あなたの命にかかわります。

今週も暑い日が続きそうですね。夏の大会やコンクールに向けて準備をしている人は、いつも以上に疲れがたまっているかもしれません。ゲームをしていて遅くに寝て、次の日の体調がすぐれないなんていう人はいませんか？自分のからだや心の声をきちんと聴きながら、今、自分に必要なことを上手に選んでいかれるようになりましょう。

ところで、友だちの命を守る知識。赤中のAED、どこにいくつあるか知ってますか？

